

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	地域生涯学習推進事業				基本目標	生涯学習活動の推進				
担当課(局)・係	社会教育課	生涯学習係	記入者	佐藤英伸		事業開始年度	H3	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体			特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体の活動支援						
事業の内容	他の地域や団体のモデルとなる地域や団体を育成するため、特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体への補助金交付									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	60千円		120千円		120千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	補助金					地方債	千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	地域生涯学習推進事業補助金				
	補助対象	高鍋町レクリエーション協会・南町公民館			補助金要綱	高鍋町補助金等の交付に関する規則				
	前年度決算	補助額	120千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	120千円	終期	26
		交付団体の決算額	1,302千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	9%		<small>◎生涯学習の推進という観点からも事業の継続は必要である。(H23)</small> <small>◎今後の補助制度の方向性を検討するべきである。(H23)</small> <small>◎文化伝承活動として、その後の活動状況の把握が必要である。(H23)</small> <small>◎ある面では、たかなべ未来づくり事業(提案型予算)と重なる部分もあるように、今後、統合も含め調整など必要である。(H23)</small>						
繰越額	179千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体の活動支援			学習の成果の発表					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
生涯学習推進大会での発表(2年継続場合はどちらかの実施年度での発表を目標とする)	1	回						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体の確保	箇所							

◎目標達成状況

	指標名	単位	24年度			25年度		26年度		これまでの活動状況・特記事項
			実績値	1	1	目標値	1	達成率	100.0%	
成果指標	生涯学習推進大会での発表(2年継続場合はどちらかの実施年度での発表を目標とする)	回	実績値	1	1	目標値	1	達成率	100.0%	24年度発表: 高鍋町レク協会 25年度発表: 南町自治公民館
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%			
	実績値			目標値		達成率				
	達成率			達成率						
活動指標	特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体の確保、育成	箇所	実績値	1	2	目標値	2			
			目標値	2	2	目標値	2			
	実績値			目標値						
	目標値			目標値						

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	3	効率性	4	本事業は、特色ある公民館づくりやまちづくりを推進する団体の活動支援を目的としていることから町が行うべき事業と考える。生涯学習推進大会で事業内容を発表することを補助の条件とすることで学習の成果を生かせる機会を創出するとともに、生涯学習推進大会の充実を図ることができると思われる。発表により他の地区や団体の活性化に繋げたい。この補助事業ができてから23年経過しており、過去に補助を受けた地区や団体でも前回とは違った特色のある活動を行う場合は支援し、補助団体の確保育成に努めたい。	今後の方向性
	有効性	3	公益性	3		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の推進ということで維持。 事業の必要性は理解はできるが申請団体がなくなった場合、どうするのか？ 町として生涯学習事業を実施しており、そちらとの統合なども検討してみてもどうか？ 申請団体が減少傾向であれば縮小もやむを得ないのではないか。 継続するのであれば事業成果報告の方法に検討が必要	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	高鍋町学校支援地域本部事業			基本目標	家庭・学校・地域が一体となった教育環境の充実			
担当課(局)・係	社会教育課	生涯学習係	記入者	佐藤英伸		事業開始年度	H22 年度	
事業の目的	対象(誰を・何を) 地域住民、町内小中学校			意図(どのような状態にしたいのか) 学校、家庭、地域住民等が相互に連携し学校支援活動を行うことにより増				
事業の内容	地域住民から学習支援・環境整備・登下校見守り等の学校支援ボランティアを募集し、人材バンクに登録。教育委員会が委嘱した「地域コーディネーター」と呼ばれる調整役が町内小中学校からの人材派遣要望と人材バンクを照合し、適したボランティアを学校に派遣することにより学校支援活動を行う。							
予算・決算額	年度	平成24 年度決算	平成25 年度決算	平成26 年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	1,458 千円		1,721 千円	1,853 千円	国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入	学校支援地域本部事業補助金			県支出金	580 千円	
		歳出	報償費			地方債	千円	
					その他	千円	一般財源	1,273 千円
補助事業	事業の区分	補助事業ではない			補助事業名			
	補助対象				補助金要綱			
	前年度決算	補助額	千円	補助の形態	H26年度補助額	千円	終期	
		交付団体の決算額	千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	#VALUE!	%					
	繰越額	千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
小中学校の活動支援、地域の教育力の活用								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
学校支援活動数	900	日	学校支援活動数(延べ人数)	3000	人	ボランティア登録数	300	人
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
地域コーディネーターの確保	人	ボランティア募集	回	実行委員会の回数	回			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	学校支援活動数	日	実績値	847	893	目標値	900
			達成率	94.1%	99.2%	達成率	100.0%
	学校支援活動数(延べ人数)	人	実績値		2903	目標値	3000
			達成率	0.0%	96.8%	達成率	100.0%
	ボランティア登録数	人	実績値	170	186	目標値	190
			達成率	56.7%	62.0%	達成率	63.3%
活動指標	地域コーディネーターの確保	人	実績値	2	2	目標値	2
			目標値	2	2		
	ボランティア募集	回	実績値	0	2	目標値	2
			目標値	2	2		
	実行委員会の回数	回	実績値	0	0	目標値	2
			目標値	2	2		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	教育基本法第13条に規定する「学校、家庭及び地域住民等の相互協力による教育体制の構築」が県の生涯学習推進重点施策として位置づけられており、本事業はその地域を中心とした教育活動の中心となることにより、生涯学習の機会拡大の場としても有効な事業であることが確認できると考え、現在学校からの要望に合わせボランティアを募集してお願いする機会が多くなり、効果的な活動の展開が期待される。また、どんな内容のボランティアでも無償が原則であり依頼が難しい内容もあるのが現状である。今後はコンニチスキールとも連携しながら、東校区と西校区の独自の事業を展開していくことも可能であると思われる。より地域に近い活動ができるコーディネーターの確保・育成が必要である。 学校主体の事業と重複しやがちなこの事業を活用することで学校の負担軽減の効果は大である。有効性もあるが地域との交流内容によっては事業効果も数字に表せない場合も多い(講話や体験学習の 人と下校見守りの 人を同じ数字で実績では上がつておらず)、国庫の補助事業対象であり、コーディネーターの報酬800円ボランティアは無償が原則であるので事業費は抑制されており効率性は事業内容に対して大きいと思われる。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	・本部を2つのしても内容は変わらない(国庫の補助金増加が見込まれるのみ) ・事業自体が変わらないので維持で判断	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	石井十次顕彰会補助事業				基本目標					
担当課(局)・係	社会教育課	文化係	記入者				事業開始年度	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	石井十次顕彰会			石井十次顕彰会の活動支援						
事業の内容	石井十次顕彰会への補助金交付									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	1,800千円		800千円		800千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出						地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	800千円		
補助事業	事業の区分	町単独による補助事業			補助事業名	石井十次顕彰会補助金				
	補助対象	財団法人 石井十次顕彰会			補助金要綱	社会教育関係補助金交付規程				
	前年度決算	補助額	800千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	800千円	終期	26
		交付団体の決算額	9,907千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	8%		◎毎年、特定寄附で当初予算から増額して補助している現状を鑑みると、当初予算を削り込むことはできない。(H23) ※評価対象として馴染まないという意見有。次回見直し時に要検討(H23) H24.4号補正により入出共に1,000千円増						
	繰越額	1,549千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
石井十次先生の偉業を知る事が出来る			高鍋町民の郷土愛を育む効果が生まれる					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
石井十次顕彰会支援								
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
補助金の交付								

◎目標達成状況

	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	これまでの活動状況・特記事項
成果指標	石井十次顕彰会支援		実績値			目標値	
			達成率			達成率	
			実績値			目標値	
			達成率			達成率	
活動指標	補助金の交付		実績値	1	1	目標値	
			目標値	1	1		
			実績値			目標値	
			目標値				
		実績値			目標値		
		目標値					

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	石井十次先生の偉業を発信することにより、高鍋町を広く周知する効果がある。また、町内小中学生等に顕彰活動を行うことにより郷土愛の醸成に大きな効果がある。高鍋町民の利益につながるものであり、これからも支援していく必要がある。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	5		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 町が行うべき事業を顕彰会にお願いしている経緯があることから、何らかの支援は必要。 町から設立を依頼した経緯等もあり、変更は困難と考えられる。 成果指標について数値化が必要(実績の判断ができない) 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	舞鶴ロードレース大会inルピナス			基本目標	スポーツ活動の推進				
担当課(局)・係	社会教育課	社会体育係	記入者	濱本 明俊		事業開始年度	S48 年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	小学生から高齢者まで(町内外を問わない)			生涯スポーツへの関心と健康増進					
事業の内容	例年3月の第1日曜日に県立農業学校及びルピナスパークの敷地を利用し、ロードレース大会を実施する。平成24年より小学校1年生から参加出来るようにし、参加対象者を拡大させた。県内外から参加者を募り実施している。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	343 千円		335 千円		463 千円		国庫支出金 千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金 千円	
		歳出	報酬、報償費					地方債 千円	
							その他 千円		
							一般財源 463 千円		
補助事業	事業の区分	補助事業ではない			補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態	H26年度補助額	千円	終期
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
	決算額に占める割合	#VALUE!		%					
	繰越額			千円					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
関係団体との連携強化			PR活動の充実					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
大会参加者数	550	人						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
実行委員会	回	広報活動	回					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			実績値	24年度	25年度		目標値
成果指標	大会参加者数	人	実績値	529	440	目標値	550
			達成率	96.2%	80.0%	達成率	100.0%
				実績値		目標値	
				達成率		達成率	
活動指標	実行委員会	回	実績値	1	1	目標値	1
			目標値	1	1		
	広報活動	回	実績値	6	6	目標値	6
			目標値	6	6		
			実績値		目標値		
			目標値				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	伝統ある大会の一つで、40回の大会を行っている。昨今のマラソンブームにより競技人口が増えている状況で、県内の競技会そのものも増えてきているので、他の大会に無い特色を出し、大会を盛り上げて必要がある。(昨年小学校1・2年生部門を新設)	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 大会の趣旨を踏まえると、現行の体制で実施していくのが良い。 小中学生メインの大会とすることで県内の他の大会との差別化を図る。 子育て支援等も視野に入れて大会の特色をつくりあげてもらいたい 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	宮崎県市町村対抗駅伝競走大会事		基本目標	スポーツ活動の推進						
担当課(局)・係	社会教育課	社会体育係	記入者	濱本 明俊		事業開始年度	H22 年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どのような状態にしたいのか)							
	高鍋町の代表として出場する選手		ジュニア選手の育成と県内各市町村との交流促進、スポーツの振興を図							
事業の内容	宮崎市内をコースとして県内の全市町村が参加し、市郡の部と町村の部に分かれレースが行われる。宮崎県をはじめ宮崎県教育委員会・県内全ての市町村教育委員会の後援により、毎年成人の日で開催される。 H24 5位(20チーム中) H25 4位(21チーム中)									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	40千円		40千円		40千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	負担金補助及び交付金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	40千円		
補助事業	事業の区分	町単独による補助事業		補助事業名	宮崎県市町村対抗駅伝競走大会出場補助金					
	補助対象	高鍋走ろう会		補助金要綱	補助金の交付に関する規則					
	前年度決算	補助額	40千円		補助の形態	奨励的補助	H26年度補助額	40千円	終期	26年度中
		交付団体の決算額	40千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
		決算額に占める割合	100%		※新規事業 ◎町の代表として出てもらうので、継続した補助はやむを得ないと考える。(H25) ◎事業の内容と成果を、しっかり出していくことが必要。(H25)					
繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
ジュニア層の強化			チーム力向上(町内全体)					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
順位	1	位						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
選考会の開催	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	順位	位	実績値	5	4	目標値	3
			達成率			達成率	
			実績値			目標値	
			達成率			達成率	
活動指標	選考会の開催	回	実績値	0	3	目標値	3
			目標値	0	3		
			実績値			目標値	
			目標値			目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	高鍋走ろう会(町体育協会加盟)の協力得て、代表選考会から選手の輸送等を行っている。小学生から壮年の選手が町の代表として出場し、世代を超え参加できる大会は他にない。競技力向上のために更なる補助が必要と考える。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 補助金額としてはそのまま。必要になった経費等はその時相談。 交通手段の確保・マイクロバスなどを使ったらどうか。 競技者の育成強化のためには継続的な支援が必要 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	特別展事業				基本目標	芸術文化活動の充実		
担当課(局)・係	社会教育課(美術館)	総務学芸係	記入者		事業開始年度	H24	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)				
	町内外を問わず、広く県民に対して			地域の芸術文化の発信地としての役割を果たす				
事業の内容	「モナリザを描くⅡ」を開催。岡山県の株式会社林原がメセナ事業として開催している展覧会の巡回展。世界各国のさまざまな面でハンディをもつ方がたに呼びかけ、レオナルド・ダ・ヴィンチの《モナリザ》をモチーフに描いた絵を公募し、その中から優れたものを選び公開する。本展その2回目で、日本国内だけでなくイタリアや韓国、インド、ネパールなどの国外からも多くの作品が寄せられ、それらの公募作品のなかから厳選された70点を展示。							
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳
	金額	6,191 千円		266 千円		5,894 千円		国庫支出金 千円
	主な予算科目	歳入	美術館使用料				地方債	千円
		歳出	負担金				その他	千円
						一般財源	5,894 千円	
補助事業	事業の区分				補助事業名			
	補助対象				補助金要綱			
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態	H26年度補助額	千円	終期
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
	決算額に占める割合	#VALUE!	%					
	繰越額		千円					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。			観覧料収入の増加で、企画展開催に係るコストを削減する。			観覧者のより一段の楽しみと売上向上		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
観覧者数	10000	人	観覧料収入	5000000	円	グッズ売上収入	500000	円
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
広報活動数	回	関連イベント開催数	回	取材依頼数	回			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			実績値	24年度	25年度		目標値	
成果指標	観覧者数	人	実績値	9602	255	目標値	9000	26年度は「いわさきちひろ展」と「増田常德展」の2回開催
			達成率	96.0%	2.6%	達成率		
	観覧料収入	円	実績値	6418100	76500	目標値	4650000	
			達成率	128.4%	1.5%	達成率	93.0%	
グッズ売上収入	円	実績値	1254388	0	目標値	400000		
		達成率	250.9%	0.0%	達成率	80.0%		
活動指標	広報活動数	回	実績値	1	1	目標値	2	新聞・雑誌等への定期的掲載(毎週・毎月)にかかる情報提供は除く
			目標値	2	2			
	関連イベント開催数	回	実績値	1	0	目標値	3	
			目標値	1	2			
	取材依頼数	回	実績値	8	2	目標値	2	
			目標値	1				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	特別展を開催することによって、町内外をはじめ県外にも高鍋町美術館の存在をアピールできる。 来館者数の増加で、町内の商店街や飲食店などにも経済効果がある。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 単に費用や事業内容だけで「拡充」とはいえない 維持が妥当と考える。 収支バランスのとれた計画的な展覧会企画をすすめてもらいたい 	外部評価委員会評価判定欄
維持		